NHKのLアラート 活用状況

NHKでのLアラート活用

テレビ (全国・ブロック・地域) 速報スーパー/ニュース原稿 テレビ"L字"(主に地域・ブロック) ワンセグ (全国・地域) ラジオ (全国・ブロック・地域) ニュース原稿

データ放送 (主に地域)

インターネット(HP・スマホ)

避難情報・開設避難所情報 → システム連携

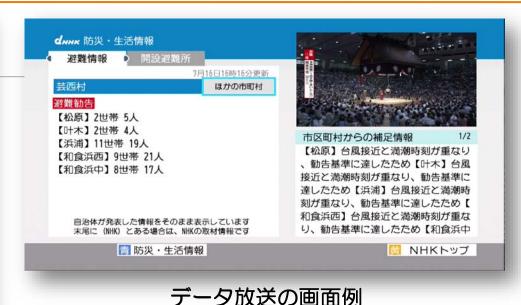


"お知らせ"/ ライフライン情報

情報の"一覧性"を生かす



HP(NHKオンライン)の例



- 避難情報、開設避難所情報を掲載
- ・ニュース原稿や"L字"にも活用

データ放送での活用



情報が入ると メニューが赤色に

ホームページでの活用

各放送局のトップ画面



災害情報や 避難情報があるときは 赤い帯で表示 市町村名も



ホームページでの活用



<u>▽避難情報</u> 発表中の市町村が 赤ベースに

▽市町村を選ぶと 地区名、対象数などを 一覧表示



ホームページでの活用



<u>▽開設避難所情報</u> 発表中の市町村が 赤ベースに

▽個別の施設名などを 一覧表示



「NHKニュース・防災」 アプリ (2016年~)

- ▽「市町村単位」の情報発信
- ▽プッシュ通知機能
- ▽放送の同時提供・ライブ映像







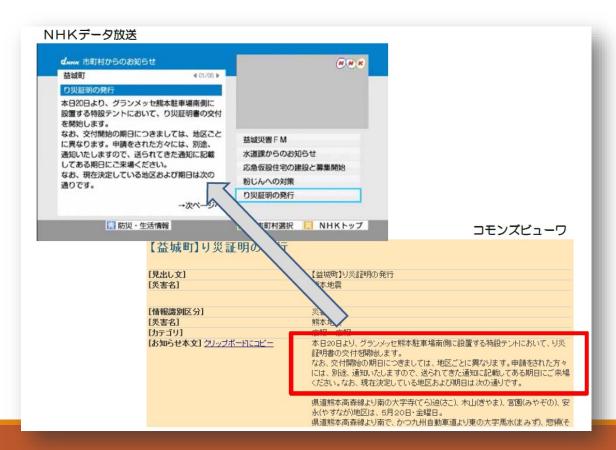
"ひとりひとり"に





熊本地震

"お知らせ"情報の活用



自治体発の様々な情報を テキスト表示

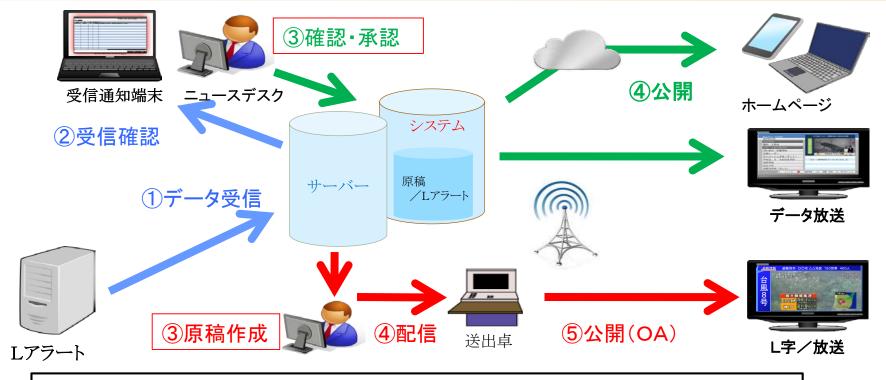
(罹災証明、仮設住宅募集、水道・・・)



「普段使い」で活用も



放送局のLアラート情報フロー



・ 最初の受信情報はニュースデスクが確認して公開承認

→ 以後は"自動承認"

放送局の作業環境



Lアラートの避難·避難所情報を受信すると、画面が赤く点滅し、鳴動する

Lアラート受信通知端末

放送職場の中に設置 音と表示で 入電を知らせる

放送局の作業環境



公開の承認作業

最初の情報をチェック! 誤操作等でないことが 確認できれば「<u>自動承認</u>」



以後、自治体の情報が即座に公開される

西日本豪雨で見えた課題

- ▼重複発令 特別警報の際 同じ地区に避難勧告と避難指示を発令
- ▼同一内容が重複 同じ地区に2つの避難勧告 土砂災害と浸水害
 - → 上記2つはNHKのシステムが判別できない
- ▼避難勧告が突然消えた 1500世帯に避難勧告→1世帯に避難指示

自治体への期待

- ▼正確・迅速な情報発信を 正確性が高まれば完全自動化も可能に
- ▼発信のスキルアップ入力方法は自治体によってさまざま→発信した情報はユーザーの元にそのまま届く
- ▼地方連絡会の活用